

2010年3月3日  
三菱電機株式会社

バックライトの効率的コントロールにより年間消費電力量を削減  
**三菱液晶テレビ「REAL」MX シリーズ新製品発売のお知らせ**

三菱電機株式会社(執行役社長:下村 節宏)は、液晶テレビ「REAL」MX シリーズの新製品として、年間消費電力量<sup>※1</sup>を当社従来の同型機よりも削減した液晶テレビ 3機種を3月15日から順次発売します。番組本編からCMに変わる時や入力ソースを切り替えた時に変化する音量を自動調整する「おすすめ音量」機能など、使い勝手に配慮した豊富な機能も搭載しています。

※1 平成20年度改正省エネ法に基づき、型サイズや受信機の種類別省エネガイドの算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した1年間に使用する電力量の目安

**発売の概要**

商品名	型	形名	希望小売価格	発売日	当初月産台数
地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ「REAL」	32V型	LCD-32MX45	オープン	3月15日	10,000台
		LCD-32MX40			10,000台
	26V型	LCD-26MX45		3月31日	5,000台

**発売の狙い**

液晶テレビ市場は、リビングユースの大型モデルを中心に需要伸長が顕著である一方、寝室や書斎などのパーソナルユース、さらには2台目向けとして、中・小型モデルにおいても本格的な需要期を迎えています。2009年度はエコポイント制度の効果もあり、前年比約150%(当社予測)と大幅な伸長で推移しており、2010年度もエコポイント制度の継続や2011年アナログ停波前の需要喚起により、引き続き好調な需要が見込まれます。

当社は今回、本格的な需要期を迎える中で省エネ性と使い勝手に対するニーズが高まっている中・小型モデルゾーンへの対応として、年間消費電力量を削減し、入力ソースを切り替えた時などに変化する音量を自動調整する「おすすめ音量」機能など、使い勝手に配慮した豊富な機能を搭載した液晶テレビ「REAL」の新製品を発売します。

**新製品の特長****1. 年間消費電力量をさらに削減**

高効率バックライトの採用で消費電力の少ない「ECO パネル」を搭載しています。今回、バックライトの効率的コントロールで、年間消費電力量を当社従来の同型機よりさらに削減<sup>※2</sup>しました。

また、省エネ効果を画面上で確認できる「ECO メーター」「ECO モニター」のほか、「明るさセンサー」や「ECO 画質モード」などの「7つの省エネ設計」により、省エネに貢献します。

※2 LCD-32MX45とLCD-32MX35、LCD-32MX40とLCD-32MX30、LCD-26MX45とLCD-26MX30 各々の比較

**2. 「おすすめ音量」など、使い勝手に配慮した豊富な機能を搭載**

(1) 番組本編からCMに変わる時や入力ソースを切り替えた時に変化する音量を安定した音量に自動調整する「おすすめ音量」機能を搭載しました。

(2) リモコン操作でテレビ画面が左右に振り向く「オートターン」機能を搭載<sup>※3</sup>しました。

※3 LCD-32MX40を除く

(3) 電子番組表の番組タイトルなどを音声で知らせる「しゃべるテレビ」機能を搭載しました。

**3. 「DIAMOND EngineⅧ」搭載による鮮明な映像と、DIATONE 音響技術によるクリアで臨場感のある高音質**

高画質回路「DIAMOND EngineⅧ」の搭載により、ノイズの少ない滑らかで鮮明な画質で、さまざまな映像を最適に再現します。また、当社が培ってきた DIATONE 音響技術をベースに開発した「DIATONE リニアフェイズ」回路などの搭載により、よりクリアで臨場感のある高音質を実現しました。

報道関係からの  
お問い合わせ先〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 電話 03-3218-2359 FAX 03-3218-2431  
三菱電機株式会社 広報部

## 特長の詳細

### 1. 年間消費電力量をさらに削減

高効率バックライトの採用で消費電力の少ない「ECO パネル」を搭載しています。今回、バックライトの効率的コントロールにより、年間消費電力量を当社従来の同型機よりさらに削減しました。

また、省エネ効果を画面上で確認できる「ECO メーター」「ECO モニター」のほか、部屋の明るさに応じてテレビ画面の明るさを自動調整する「明るさセンサー」や、視聴年代層と部屋の明るさに合った最適画質にコントロールする「ECO 画質モード」などの「7 つの省エネ設計」により、省エネに貢献します。

#### (1)「ECO メーター」

現在の概算消費電力や省エネ度がひと目でわかります。視聴年代層と部屋の明るさに合った最適画質にコントロールする「ECO 画質モード」の設定状況を葉っぱのアイコンでお知らせします。

#### (2)「ECO モニター」※4

現在の省エネ設定と省エネ設定を行わない場合を比較して、電気代やCO<sub>2</sub>排出量の概算累積削減量を表示します。

※4 「ECO 画質モード」時と工場出荷時とを比較したバックライトの消費電力削減量の累積値。実際のテレビ全体の消費電力とは異なります。また、使用環境や設定状況により数値は異なります

#### (3)「7 つの省エネ設計」

##### ア)「明るさセンサー」

部屋の明るさに応じて、画面の明るさを自動調整し、消費電力をセーブします。

##### イ)「ECO 画質モード」

「明るさセンサー」と視聴者別設定の機能により、視聴者の年代に合わせて画面の内容に応じた明るさや色味に自動調整し、消費電力をセーブします。

##### ウ)「センサー節電」

設定を「入」にしている場合、部屋の電気が消えて真っ暗になると、約 6 秒後に自動で電源を OFF にします。

##### エ)「無信号時電源 OFF」

放送が終了し無信号状態になると、約 10 分後に自動で電源を OFF にします。

##### オ)「無操作時電源 OFF」

無操作状態が約 3 時間以上続くと、自動で電源を OFF にします。

##### カ)「主電源「切」時 0W 設計」

主電源「切」時は消費電力が 0W になり、待機時消費電力をセーブします。

##### キ)「消画モード」

音声のみ出力し、画面は消して省エネ性能を向上します。

### 2. 音量を自動調整する「おすすめ音量」など、使い勝手に配慮した豊富な機能を搭載

#### (1)「おすすめ音量」

「おすすめ音量」を設定すれば、番組や DVD ソフトなどのコンテンツ全体の音量感が常に一定の範囲となるように音量を自動調整します。CM 時に急に大音量になるのを抑え、ニュースやセリフの音が小さな時は音量を上げます。この「おすすめ音量」は、異なるチャンネルや放送波、外部入力などの入力ソースの切り替え時でも効果を発揮します。さらに、リモコンに「おすすめ音量」専用ボタンを搭載しているので、視聴中の設定も簡単です。

#### (2)「オートターン」(LCD-32MX40 を除く)

リモコン操作でテレビ画面の向きを左右各約 30 度ずつ回転させることができますので、高画質映像と高音質を正面のベストポジションでお楽しみいただけます。

#### (3)「しゃべるテレビ」と「報知音」

電子番組表 (EPG) の番組タイトルや番組内容、予約状況などを音声で知らせます。メニュー項目やボタン名称の読み上げも可能なので、テレビから離れていて文字が見えにくいときなどに便利です。さらに、番組検索時や消画モード時の読み上げにも対応し、読み上げの速度や音量を変更することもできるようになりました。また、リモコンのボタン操作が確認できる「報知音」機能も搭載していますので、二重押しなどの誤操作を防止できます。

### 3. 高画質回路「DIAMOND EngineⅧ」搭載による鮮明な映像と、DIATONE 音響技術によるクリアで臨場感のある高音質

#### (1)「HD3DDNR 回路」

デジタルハイビジョン放送の映像ノイズを低減し、クリアで上質な映像を再現します。

#### (2)「ダイナミックレベルエクスペンダーⅢ」

従来、暗いシーンでは黒つぶれして見えにくかった映像部分の再現性を向上しました。また、明るいシーンでは白つぶれを防止し、コントラスト感の高い映像に仕上げます。

#### (3)「IBC(インテリジェントバックライトコントロール)」

画面内容に応じて液晶パネル内のバックライトを自動的に制御する機能です。

#### (4)「ナチュラルカラーマトリクス」

複数の色をそれぞれ独立して自動的に補正することで、より自然で鮮明に色再現します。

#### (5)「オートジャンル適応画質・音質モード」

映像信号の特徴を解析して、5つのカテゴリ(ノーマル、スタジオ、シネマ、スポーツ、ミュージック)に分類し、最適な画質に自動調整する機能です。

#### (6)「DIATONE サラウンド HEADPHONE」機能

通常のヘッドホンに接続するだけで、音がヘッドホンの外から聞こえてくるようなサラウンド効果が楽しめます。

#### (7)「DIATONE サラウンド 2.0」機能

通常のスtereo音声を、よりワイドな広がり感のある音場で再現します。一般のテレビ放送や、サラウンド記録のない映画、スポーツ、音楽番組なども臨場感のある音質でお楽しみいただけます。

#### (8)「DIATONE BASS」機能

迫力ある低音を再現する「DIATONE BASS」機能により、サラウンドのコンテンツの視聴時など、比較的小さなテレビ用スピーカーでも、より臨場感のある音質でお楽しみいただけます。

#### (9)「DIATONE リニアフェイズ」回路

スピーカーユニットの特性やスピーカー開口部の形状などの音質に与える影響を打ち消す補正信号を加えることで、高級スピーカーに近い高音質な音場を再現します。

### その他の特長

#### 1. 生活に役立つ情報や、さまざまな映像コンテンツを自宅に居ながらいつでも楽しめる「アクトビラ」対応

デジタルテレビ向けのネットサービスである「アクトビラ」<sup>※5</sup>に対応しています。ブロードバンド回線に接続することで、生活に役立つ情報や、豊富な映像コンテンツを楽しめます。また、全画面表示でハイビジョン画質の映像コンテンツを視聴できる「アクトビラ ビデオ・フル」に対応していますので、映画やドラマなど、全画面で迫力のある映像コンテンツをいつでも楽しめます。

※5 「アクトビラ」とは、株式会社アクトビラが提供するデジタルテレビ向けネットサービスの総称です。「アクトビラ」を利用するためには、インターネットのブロードバンド環境(ADSL、FTTH、CATVなど)が必要です。「アクトビラ」の利用には、一部の有料サービスを除き料金はかかりません。ただし回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金が別途必要です。「アクトビラ」は株式会社アクトビラの登録商標です

#### 2. 「REALINK」機能により、テレビのリモコン操作で当社製レコーダーを簡単操作

「REALINK」機能の搭載により、テレビのリモコン操作で、HDMI 端子で接続した当社製ブルーレイディスクレコーダー、DVDレコーダーの録画・再生などができます。

##### (1)「録画リスト表示」機能<sup>※6</sup>

テレビのリモコン操作で、テレビのメニュー画面からレコーダーの録画リストを表示し、簡単に再生することができます。

##### (2)「レコーダーの状態お知らせ」機能<sup>※6</sup>

「REALINK」での録画予約が同じ時間帯に重複していたり、レコーダーの HDD 容量が残り少ないなどの状態を、テレビ画面上のメッセージと音声でお知らせし、録画予約ミスを軽減します。

##### (3)「一発録画」機能<sup>※7、※8</sup>

視聴中の番組を、テレビのリモコンの「一発録画」ボタンを押すだけで、レコーダーに録画できます。レコーダーの録画操作は自動で行われ、チャンネル合わせをする必要もありません。

##### (4)「音声操作ガイド付き録画予約」機能<sup>※7、※8</sup>

テレビの電子番組表(EPG)からレコーダーの録画予約ができます。録画情報をレコーダーへ送信するときに、分かりやすい音声ガイドで確認しますので、予約ミスが防げます。また、「予約一覧」からレコーダーの録画予約を削除することもできます。

(5) デジタル放送の「録画予約状況確認」機能<sup>※6、※8</sup>

テレビの電子番組表 (EPG) や予約一覧でレコーダーに録画予約している番組が確認できます。

(6) AV アンプ連動機能<sup>※9</sup>

外部アンプとの接続時に、メニューの「外部アンプ連動」をオンにすると、テレビの「音量」「消音」ボタンで AV アンプの音量操作ができます。

※6 2008 年以降に発売された当社 REALINK 機能対応のブルーレイディスクレコーダーおよび DVD レコーダーとの組み合わせ時 (DVR-DS120 を除く)

※7 2007 年以降に発売された当社 REALINK 機能対応のブルーレイディスクレコーダーおよび DVD レコーダーとの組み合わせ時

※8 地上デジタル放送、BS/CS デジタル放送に限り (アナログ放送、外部入力には機能しません)

※9 HDMI (System Audio Control) 対応の AV アンプと HDMI 接続時に限り

### 3. 使う人に合わせた簡単・便利機能を満載

(1) 「声ハッキリ」モードを搭載し、聞き取りやすさを向上

アナウンサーや人の声が聞きやすくなります。高齢者にやさしい機能です。

(2) 見やすい「ハイビジョン電子番組表 (EPG)」機能と、わかりやすい「今すぐできることメニュー」

ハイビジョンの高精細フォントで見やすい電子番組表を搭載しています。チャンネル表示も「9 チャンネル・8 時間」「7 チャンネル・7 時間」「6 チャンネル・6 時間」「5 チャンネル・5 時間」の 4 種類より選択でき、お好みに応じて選べます。また、地上デジタル放送視聴時や電子番組表 (EPG) 画面表示時に、見ている画面の状態がよく使う操作機能のメニューを優先して表示する「今すぐできることメニュー」搭載により、素早い操作ができます。

(3) デジタル放送のチャンネル設定も簡単にできる「らくらく設定」機能

テレビ設置時に行うチャンネル設定などを、問いかけ方式で設定できる「らくらく設定」を搭載しています。郵便番号を入力するだけでデジタル放送、地上アナログ放送のチャンネル設定が完了します。さらに手順をテレビが音声でガイドしますので、慣れない操作を安心・確実に行えます。

(4) 使う人に合わせてテレビの設定を変えられる「使う人切換」機能

使う人に合わせてテレビ設定を変えられます。「ECO 画質モード」の視聴者設定と合わせて、誤操作を防止する「リモコンキーロック」、「本体操作部ロック」などを簡単な操作で一括設定できます。

(5) 身近な使い勝手を追求した簡単・便利機能群

ア) デジタルカメラで撮影した JPEG 静止画を再生してテレビで楽しめる「SD カードスロット」搭載

イ) 入力の切り替え時に、接続していない入力端子を自動的にスキップできる「かんたん入力切換」

ウ) 寝室などの静かな環境でもテレビ内のファン音が気にならないファンレス設計

エ) 転倒防止ベルトを付属するなど転倒防止を考慮したスタンド設計

### 4. 「スリム&コンパクト」デザインで設置性に優れた設計

テレビ本体のフレーム幅や装飾を最小限に抑えコンパクト化を実現しました。

### 5. 環境に配慮した製品づくり

J-Moss<sup>※10</sup> の規定に基づく「グリーンマーク」に適合しています。

※10 資源有効利用促進法に基づく、特定の化学物質の含有表示方法



電子番組表は、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. が開発した「G ガイド」を採用しています。「G ガイド」は、Gemstar-TV Guide International, Inc. が知的財産権を保有する電子番組表 (EPG) 技術「G-GUIDE」をベースに株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド (IPG 社) がサービス開発し、BS-TBS (株式会社 BS-TBS) と提携して日本国内で運用する電子番組表 (EPG) で、現在地上波アナログ/デジタル、BS アナログ/デジタル、110 度 CS デジタル放送すべてをカバーし、全国で展開しています。本機種に関連し使用している G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. またはその関連会社の日本国内における登録商標です

**主な仕様**

形名	LCD-32MX45	LCD-32MX40	LCD26MX45
種類	地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン液晶テレビ		
画面サイズ	32V 型		26V 型
画面アスペクト比	16:9		
画素数(パネル種類)	水平 1366×垂直 768 (ワイド XGA)		
受信チャンネル	VHF	1～12ch	
	UHF	13～62ch	
	ケーブルテレビ	C13～C63ch	
	地上デジタル	000～999ch	
	BS デジタル	000～999ch	
	110度CS デジタル	000～999ch	
電源	AC 100V 50/60Hz		
内蔵スピーカー数	2		
音声実用最大出力	10W+10W		
HDMI 入力端子	3 系統 3 端子		
D 端子	D4 映像対応 1 系統 1 端子		
PC 入力端子	(映像)ミニ D-sub15 ピン 1 系統 1 端子 (音声)ステレオミニジャック		
ビデオ入力端子	コンポジット 2 系統 2 端子 S 映像(S2 映像対応) 1 系統 1 端子		
音声出力端子	ステレオ音声(RCA 端子×2) 1 系統 1 端子		
デジタル光音声出力端子	1 系統 1 端子		
LAN 端子	1 系統 1 端子		
ヘッドホン端子	1 系統 1 端子		
消費電力	90W		73W
年間消費電力量	61kWh/年		50kWh/年
リモコン待機時消費電力 (高速起動「入」時)	0.1W (約 15W)		
主電源「切」時消費電力	0W		
外形寸法スタンド有(スタンド無)			
幅	79.2(79.2) cm	79.2(79.2) cm	65.6(65.6) cm
高さ	56.3(52.7) cm	56.1(52.7) cm	48.8(45.0) cm
奥行き	27.3( 9.5) cm	24.1( 9.5) cm	24.4(10.5) cm
質量スタンド有(スタンド無)	13.4(10.0) kg	12.7(10.0) kg	10.8( 7.8) kg

※仕様は予告無く変更する場合があります

**製作担当工場／カタログ請求先**

三菱電機株式会社 京都製作所 AV 営業統轄部 AV 営業第二課  
〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所 1 番地  
TEL:075-958-3091

**お客様からのお問い合わせ先**

三菱電機お客さま相談センター  
フリーダイヤル 0120-139-365